

4 - 8 岐阜県中部の地震活動について

気 象 庁

9月9日14時15分・岐阜県中部に

発震時 : 9月9日 14時15分 33.5秒 ± 0.2秒

震 央 : E137° 04' ± 1' ; N35° 47' ± 1'

規模 (M) : 6.6

深さ (H) : 00 km

の地震があり、死者1人、負傷者9人、建物一部破損86棟、非住家49棟の被害があった。この地震の初動分布は第1図の通り典型的な4象限型を示している。余震は北西から南東の節線上に多く分布し、特に本震の南東部に集中して発生した。

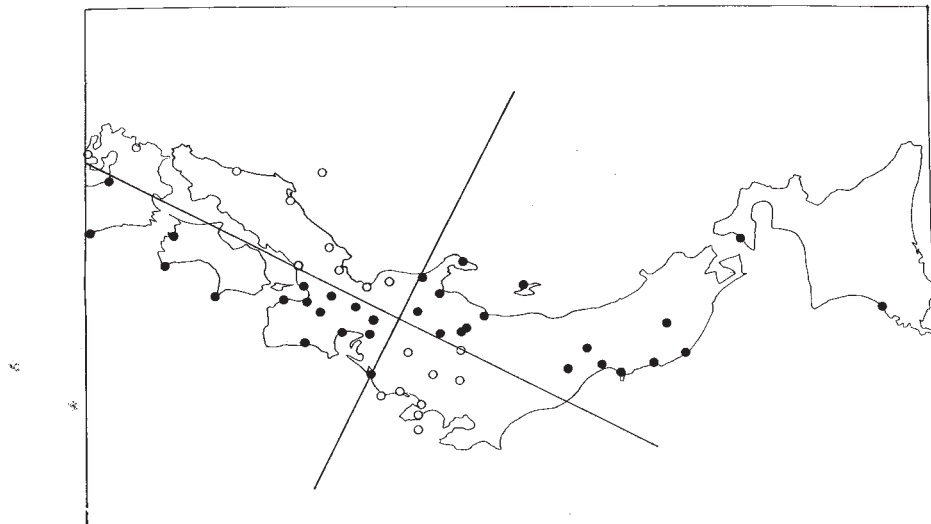
なお、この地震の発生前には7月中旬頃から愛知県中部にM = 2.5 ~ 3程度の微小地震が時々起り、4 - 4第1図(44頁)のように8月31日から上高地付近に地震が群発したりしたが、余震の発生した震源地付近では前震とはっきり認められる程の地震は発生しなかった。

岐阜県は第2図のように内陸地震としては日本で最大規模M = 8.4の濃尾地震が1891年に発生しており、その付近の福井、愛知両県にもそれに準ずる規模の大型地震が発生した歴史がある。

北美濃地震の際の余震の時間的变化は第2図で示した通り大森公式に近い典型的な減衰を示したが、今回の岐阜県中部地震も殆んど同じような変化であった。

第1図 岐阜県中部地震の初動分布

(14^h15^m33.5^s, Aug. 9, 1969) ●押し、○引き



第2図 岐阜県中部地震の発生とその経過

